

令和2年度 第1回 JCHO 東京蒲田医療センター地域協議会議事録

日 時：令和2年7月28日（火）14：00～14：45

場 所：JCHO 東京蒲田医療センター 健康管理棟2階大会議室

出席者：伊津野委員（大田区保健所 所長）

宮島委員（医療法人社団誠働会 テクノポートクリニック 院長）

薄井委員（岩井機械工業株式会社 取締役 経営事務部長）

古川委員（社会福祉法人池上長寿園 蒲田事業部門統括事業所長）

田中委員（南蒲田二丁目町内会 町会長）

増田委員（蒲田三丁目町内会町会長）

（JCHO 東京蒲田医療センター）

石井委員、宮澤委員、田村委員、濱岸委員、織田委員、伊藤委員

司 会：JCHO 東京蒲田医療センター院長 石井耕司

【議事内容】

1. 令和2年度前期報告

『当院における新型コロナウイルス感染症対策』をテーマとし、下記事項について石井院長、濱岸看護部長より報告した。

1) 新型コロナウイルス感染症患者の入院受け入れ状況

- ・「ダイヤモンドプリンセス号」の乗客乗員

令和2年2月18日～令和2年3月11日まで計29名

- ・成田国際空港、東京国際空港の検疫所で判明した感染者

令和2年3月30日～令和2年5月16日まで22名

令和2年6月22日～現在まで4名

- ・東京都、大田区からの要請で受け入れた感染者

令和2年3月27日～令和2年5月30日17名

令和2年6月22日～現在まで17名

2) 院内感染をゼロに押さえた当院の感染防止対策

- ・2月18日対策本部を院内に設置し、コロナ診療チームを結成した。

- ・地域包括ケア病棟（49床）を新型コロナウイルス感染症陽性患者入院病棟へ一時的に変更した。

- ・消化器病棟（29床）の陰圧工事が完了し、4/9から新型コロナウイルス感染症疑い患者の入院を受け入れた。

- ・救急外来に陰圧テントを設置、4月28日より屋外に陰圧テントを設置して『帰国者・接触者外来』を開始した。

3) 看護上の新型コロナウイルス感染症対策や職員への対応

(1) 人員（人材）配置

- ・新型コロナウイルス感染症病棟に配置可能な看護師の要件を定め人選した。

- ・コロナ禍における看護部の組織図を再編し、現場にコーディネーターを配置した。

(2) 看護の実際・感染防止対策

- ・新型コロナウイルス感染症陽性患者の入院・検査時の移動経路や消毒方法を決定した。
- ・職員の標準予防対策と、感染予防のための防護具トレーニングを実施した。
- ・高リスクな環境（3密）を避けるための対策を講じた。
- ・外国人の入院患者に対し、ポケットークで会話・日課表を英語で明示する等工夫した。
- ・職員が体調不良時の基準、休息・安全確保（受診）・応援態勢等を周知した。
- ・患者の面会・外出を原則禁止し、院内研修・実習受け入れを中止した。
- ・環境整備の方法やゾーニングについて周知徹底した。
- ・救急外来で新型コロナウイルス感染症を疑う患者の診察を行う際は、救急外来前をパーテーションで遮断して立ち入り禁止区域を明示した。

(3) 本部・他部門連携

- ・全国 JCHO 病院の内、33 カ所から感染管理認定看護師を含む看護職員の応援と物資の供給を受けた。
- ・陽性患者が使用したりネン類の洗濯を外部業者が受けられない問題に対し、院内洗濯マニュアルを作成して院内で洗濯した。

(4) メンタルヘルス

- ・新型コロナウイルス感染症患者を対応する看護師の想い、対応しない看護師の想いを紹介した。
- ・使命感と不安の狭間にあるスタッフの気持ちに応え、スタッフの安全を守る必要がある。

〈濱岸委員〉

新型コロナウイルス感染症に限らず感染症の対応は医療者としての使命です。地域における当院の役割を果たすために、通常の外来入院診療と新型コロナウイルス感染症患者の受け入れのバランスを取りつつ、地域の皆様の協力を得て万全の感染対策を講じていく所存です。地域の皆様からはたくさんのエールを頂き感謝申し上げます。

2. 意見交換

〈伊津野委員〉

大田区の患者様を受けていただきありがとうございます。今後、感染者が増えた場合にどのように対応してもらえますか。

〈石井院長〉

現在、新型コロナウイルス感染症患者の対応可能な病床が 29 床あります。内訳は個室 5 部屋、4 床部屋 5 部屋（4 床部屋の 1 部屋をレントゲン設置部屋として使用）。疑い患者は 4 人部屋を 1 人で使用しています。受け入れ状況に変動がありますが現時点では陽性患者 12 名、疑い患者 5 名を最大で受け入れることが可能です。

〈伊津野委員〉

今後も陽性者の受け入れについては積極的にお願いします。

〈石井院長〉

承知しました。

以上